

## ～相双の復興は港から～

副主査 塩谷 圭太郎

所属：相馬港湾建設事務所 建設課

採用：平成27年度

学生時代の専攻：工学部 土木工学科



### ■福島県職員を志望したきっかけ

福島県は東日本大震災に見舞われ、多くの施設が被害を受けた状況となっていました。その被害は甚大であり、そう簡単には復旧・復興できるような状況ではありませんでした。そういった中で、民間企業で経験したことを活かしながら、最前線で復旧・復興の力になりたいと思ったからです。

### ■これまでの経歴

- ・平成 7年度～ 民間建設会社（工事現場の施工管理）
- ・平成27年度～ 相馬港湾建設事務所 建設課（漁港施設復旧工事の監督）

### ■現在の仕事内容

現在担当している部署では、地震や津波で被災した漁港・海岸施設の復旧業務を行っています。

具体的には、復旧工事の設計積算や工事が円滑に進められるように関係機関や工事施工業者と様々な調整をしたり、工事が適切に行われているかどうかを現場で監督する、といった業務に携わっています。



### ■これまでの仕事で印象に残っていること

施設を復旧した漁港では、試験操業が始まり、人々が集まることで活気が戻ってきます。復旧を進めることで地域が活性化していく事を肌で感じる事ができたことは、とても感慨深いことでした。

### ■仕事の魅力・やりがい

仕事の魅力としては、やはり手がけた事業が形となって明確に残っていくということだと思います。

また、子供たちに自分の行ってきたことを目で見せることができるということも魅力的なことだと思いますし、施設の復旧がその地域の復興に密接に結びついているところにやりがいを感じています。

真っ白な段階から未来（計画）を描き、それを形（工事の完成）にし、便利にそして安全に利用していただく（維持管理）。

まさに、公共施設の「ゆりかごから墓場まで」に携われるというのは、「公務員技術者」の魅力だと思います。

### ■未来の後輩へのメッセージ

福島県の復旧復興はまだまだです。復旧復興に微力ながらも携わってみたいという思いがあれば、ぜひ一緒に取り組んでみませんか。ともに地域に貢献し、充実した達成感を感じてみましょう。